


## 【活動事例⑤】

公表日:平成 24 年 12 月 13 日

プロジェクト名	
活動団体名 活動者名	一般社団法人 パーソナルサポートセンター
活動概要	<p>一般社団法人パーソナルサポートセンター(PSC)は、仙台弁護士会有志やホームレス支援に取り組むワンファミリー仙台や仙台夜まわりグループ、萌友など、さまざまな分野の NPO が集まって 2011 年 3 月 3 日に設立された団体</p> <p>■生活支援事業</p> <p>2011 年 6 月から仙台市と P S C との「安心見守り協働事業」を協働形式で事業を開始。</p> <p>被災後、生活が困難な状態を解消するお手伝いだけでなく、生活再建のための支援を行い、仮設住宅から転居しても“自分らしい暮らし”ができるようサポートしていくことを目標にしている。</p> <p>被災者を絆支援員として雇用。福祉の基礎知識を学ぶ研修を受講した後に、絆支援員は毎日のように応急仮設住宅に伺い、「こんにちは」「おかわりありませんか」「よく眠れましたか」などと声かけをする。またイベントの案内、夏場は熱中症予防、冬場は水道凍結の防止のアドバイスなども行う。</p> <p>また、普段のなにげない会話から、経済面、介護、子育て、精神的な不安な状態など、個々の多岐にわたる悩みごとや心配ごとの相談を受ける。</p> <p>入居者からの相談や困っていることを聞いた絆支援員は、福祉分野の専門家でもある暮らし再生プランナーに相談したうえで、問題を解決するため</p>

	<p>の専門機関や関連団体等につなぐソーシャルワークを行う。</p> <p>■就労支援事業</p> <p>生活支援事業部や福祉、医療機関などと連携し、震災で仕事を失った方々の福祉的なサポートを展開するとともに、企業、団体などと連携を図りながら、それぞれの生活状況に合わせ、一般就労や中間的（福祉的就労等も含み）な就労を目指している。</p> <p>就労支援相談センター「わっくわあく」では、スタッフが相談者と面談をする中で、収入や職歴などを把握。それぞれの希望や適正に合わせたアセスメントをとり、職業体験を実施したり、面接や履歴書作成の助言をしたりし、就労に向けた支援を実施する。また相談者の適正に合わせた雇用を一般企業から開拓し、相談者と企業とのマッチングをはかる（無料職業紹介事業所との連携）。</p> <p>またコミュニティ・ワーク・サロン「えんがわ」を中心として、小物づくりや農業体験などの中間的な就労の場を提供し、就労から距離のある被災者の居場所や一般就労を目指すための一歩として活用。</p>
活動実績	<p>■生活支援事業</p> <p>2011年6月から数十名の絆支援員が仙台市内のプレハブ仮設住宅や、公務員社宅等の借り上げ住宅で暮らしている方々の見守り支援を行っている。</p> <p>これまでに、生活保護申請の同行や、保健師や地域包括支援センター、児童相談所などの社会資源と連携した支援などお行ってきた。ときには部屋で倒れていた方を発見して救急車を呼び病院に同行するなどの活動も行うこともある。</p>

	<p>■就労支援事業</p> <p>2012年6月に開所した就労支援相談センター「わっくわあく」において 2012年11月現在、37名の相談者が一般就労につながった。</p> <p>また、複数の中間就労の場を提供している。例えば2011年12月にスタートした「手仕事プロジェクト」では、仮設住宅などで暮らす多くの方々が、ぬいぐるみ製作に参加し、楽しんで取り組む中で収入を得ている。</p>	
活動地域	宮城県	
活動期間	2011年5月～現在まで	
活動分類	<p>1.活動主体・場所の分類：①</p> <p>2.活動内容別の分類：ウ、エ</p>	
活動を撮影した写真		
URL	<a href="http://www.personal-support.org/">http://www.personal-support.org/</a>	
問い合わせ先	所属	一般社団法人 パーソナルサポートセンター 事務局
	担当者	菅野 拓
	電話番号	022-399-9662
	メールアドレス	info-kizuna_atmark_personal-support.org

※ 迷惑メール対策として、問い合わせ先メールアドレスの「@」を「\_atmark\_」に変更しております。